

芸術・美術を伝える  
ひとになる。

多摩美術大学

芸術学科とは

Tama Art University

Department of Art Studies



「R」(アール)は芸術学科のわくわくするような授業風景や卒業生の活躍ぶりなどを取材したルポを掲載した雑誌です。ご希望の方に無料で贈呈します。



【問い合わせ先】

多摩美術大学広報部  
TEL: 042-679-5601  
E-mail: kikaku@tamabi.ac.jp

メールタイトルを「芸術R誌送付希望」とし、  
本文に送付先郵便番号・住所・氏名を  
ご記入のうえお送りください





## Message 「芸術学」へのいざない

芸術学科に興味を持っていただき、まことにありがとうございます。絵画や彫刻などのファインアートとデザインの分野で制作の実技を学ぶことを主眼とした多摩美術大学の中で、美術史、デザイン史や批評などを授業の中心に据えた本学科はやや特殊な立ち位置にあります。

思えば、人類は洞窟に住んでいた時代から、壁画や装身具などの工芸品とともに生活していました。芸術は生活に密着した存在だったともいえるでしょう。一方、どんな分野にも能力の傑出した人々がいるものです。芸術の分野では常人にはない発想で余人の追随を許さない独創的な表現をする才人た

ちが現れました。その表現や作品の素晴らしさについては、あえてここで言う必要もないでしょう。ただしその代償としてあまりに非実用的なものを作ったり、積極的に解説を聞かないと楽しむのが難しかったりという事例が出てくるようにもなりました。特に現代はその傾向が加速しています。

ここで、「ことば」の出番が登場します。アートやデザインは五感に訴えかける表現で成り立っていますが、人間はただ目や耳でそれらを捉えるだけでなく、脳を存分に稼働させて考えながら受け止めます。そこにことばが大きく関わってくるのです。ことばは思考の礎です。そして、感じたことをことばで捉え

直すからこそ、芸術のより深い次元での享受が可能になるのです。さらにことばは、享受した喜びを人に伝える力を持っています。ここに、本学科が考える「芸術学」の意義があります。

本学科はことばによってアートやデザインをより深く捉え、さらには多くの人々に伝えることで、社会と喜びを共有することを目指しています。本学科からはこれまでたくさんのキュレーター、批評家、編集者、装幀家が巣立ち、一人一人の力はささやかながらも、芸術を社会の中に送り出す役割を累々と積み重ねてきました。こうしたことに興味を持った皆さんは、ぜひ本学科の門戸を叩いてみてください。

# 広く、深く、アートと向き合う。

Create

## つくる

デッサン基礎、日本画、油画、版画、彫刻、現代美術、映像・写真表現

「考える」基礎となる美術のさまざまな表現を実技を通して経験し、それらの背景を思索し、理論を得るための眼差しを育む。

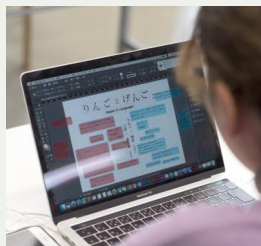


Think

## 考える

美術史、批評、キュレイトリアル論、東西デザイン史、民俗芸術論、言語芸術論、装飾芸術論、表現論等

「つくる」で経験した表現が、美術・芸術のなかでどのように読まれ、考えられているかを探り、自らの考えを深化させる。



Inform

## 伝える

展覧会やメディアの企画制作、研究発表や作品制作、卒業論文

「つくる」「考える」で培った技術や理論を生かし、展覧会のキュレーションや多様なメディアのプロデュースを実践し、社会との関わりを持ち、さらに研究を進め卒業論文等につなげる。



# 専門性を極めるための授業の数々。

## 専門授業の紹介

### 21世紀文化論

美術家、建築家、小説家、評論家、キュレーターなどの外部講師を招いた特別授業。芥川賞作家の村田沙耶香氏、建築家の磯崎新氏など多彩な顔ぶれによる講義を実現してきました。

### キュレイトリアル論

展覧会を通して現代アートをどう伝えるのか、作家との対話から展覧会をどう構成するのか。現役キュレーターである教員が、開催中の展覧会や展示空間を主な題材に講義します。

### 芸術学英語

芸術を英語で学び、英語を芸術で学ぶ。美大ならではの授業です。

### 音楽と美術

音楽は美術に変化するのか。絵画から音楽が生まれることはあるのか。世界の作家の作品を見ながら考察し、明日からの創造につながる授業です。

### 映像と身体 (ジェンダー文化論)

「男らしさ」「女らしさ」とはなにか。「ジェンダー＝社会的な性差」をめぐるトピックを幅広い視点から学びます。

## 特色ある8つのゼミ

芸術学科では、3、4年次に8つあるゼミ(設計科目)のいずれかに所属し、年間を通して展覧会のキュレーター、編集者、プランナーの仕事や、研究・調査、資料整理等の作業を、予算管理を含め実際に学生が体験します。実践的な学びの作業を通して、社会・世界とつながる活動を、授業のなかで積極的にを行います。また、複数のゼミを履修することも可能です。

美術史設計

フィールドワーク設計

展覧会設計

映像文化設計

書物設計

アーカイブ設計

装飾デザイン調査設計

構想計画設計

※「構想計画設計」は、2023年度不開講です。



## 芸術学を網羅する教授陣の素顔。



大島 徹也 教授

美術史家。愛知県美術館主任学芸員、広島大学大学院准教授を経て現職。学芸員時代にはボロックやニューマンの展覧会を企画／監修。授業では西洋近現代美術史を中心に、美術批評や芸術文化論、博物館学も展開。



小川 敦生 教授

ジャーナリスト。日経新聞とその系列の出版社で美術記者、音楽記者、雑誌編集長等を歴任。今も、授業のない日は足を使った取材と執筆に勤しむ。ゼミでは学生たちと一緒にアート誌を制作している。



家村 珠代 教授

キュレーター。目黒区美術館などで戦後の日本の美術、特に同時代の美術家・作品の研究と展覧会の制作に取り組んできた。授業では作品と展示空間、建築との関係を念頭に、展覧会という枠組みの可能性を探っている。



金子 遊 准教授

批評家・映像作家。放送作家、映像作家を経て、映画・映像史に関する著述の道に入る。『映像の境界』でサントリー学芸賞。授業では、アートフィルムやワールドシネマの領域で映像表現の歴史を探索。



安藤 礼二 教授

批評家。折口信夫研究を中心に、南方熊楠と柳田國男の民俗学、鈴木大拙と西田幾多郎の宗教哲学が交わる地点に批評活動を展開。批評とは、古きものの解釈であると同時に新しきものの創造でもありと考えている。



光田 由里 教授

大学院教授、多摩美術大学アートアーカイヴセンター所長。20世紀美術を研究し、学芸員として30以上の展覧会を企画した。芸術学科ではアーカイヴ設計ゼミのみを担当し、アートアーカイヴセンター所蔵資料の調査、整理、展示を実践する。



金沢 百枝 教授

美術史家。ヨーロッパ中世の、とくにロマネスク聖堂をめぐる、怪物／動物図像など、キリスト教の流れでは解釈できない美術について研究。授業では、キリスト教図像学、先史時代から近世までの造形論、中世の技法を扱う。

## 美大ならではの充実した設備と環境。



### スタジオ

日本画、油画、版画、彫刻などの実習制作をするための部屋です。入学した1年生は、毎週ここに集います。



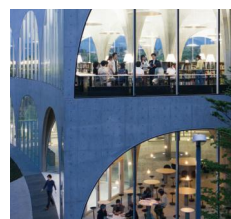
### パソコン・ルーム

芸術学科の学生専用のパソコン・ルームです。各パソコンには、エディトリアル・デザインをするためのソフトウェアやたくさんのフォント(書体)がインストールされています。



### オープン・スペース

授業のない時間に休憩や勉強、学生同士の交流ができるよう、芸術学棟の中心の吹き抜け空間をオープン・スペースとして開放しています。上の階には螺旋階段でのぼります。



### 図書館

芸術学棟の近くには、世界的建築家の伊東豊雄さんが設計した美しい図書館が立っています。配架した書棚や外光を和らげるカーテンなどにも工夫が凝らされており、心地よい環境の中で調べ物や読書ができます。

# 芸術学科4つの入口

2024年度入試の詳細については、学生募集要項をご確認ください。

## 学校推薦型 選抜

募集人員

5名

現代の芸術・文化をプロモート(企画・制作)しようとする熱意と使命感をもった人を求め、学力中心の一般選抜では評価しきれない「芸術・文化」の「企画」に関わる人に必要な資質と能力を見ます。

提出課題

願書と同時に提出

課題では、芸術・文化の企画者として必要な能力を評価します。

課題：芸術について「空想の○○○」の企画者として自由にプランを企画してください。

小論文・面接

「小論文」では文章表現力や思考力を、「面接」では芸術に対する考え方や将来の目的意識などを評価します。

## 一般選抜

一般方式

募集人員

11名

学科試験として「国語・英語」、専門試験として「小論文または鉛筆デッサン」を課しています。基礎学力と芸術性を評価します。

学科試験

国語・英語  
各100点  
計200点

芸術学科専門試験

300点

出願時に〔小論文(90分)〕〔鉛筆デッサン(3時間、言葉によるデッサンを含む)〕から一科目を選択。

共通テスト  
I方式

募集人員

8名

大学入学共通テストの本学指定の教科・科目と専門試験を課します。

大学入学共通テスト

6教科23科目のうち  
2教科2科目選択

各科目100点  
計200点

芸術学科専門試験

300点

出願時に〔小論文(90分)〕〔鉛筆デッサン(3時間、言葉によるデッサンを含む)〕から一科目を選択。

共通テスト  
II方式

募集人員

16名

大学入学共通テストの本学指定の教科・科目で合否を判定します。本学での専門試験は課しません。

大学入学共通テスト

〔国語〕、〔英語〕、  
4教科21科目のうち  
1教科1科目選択

国語200点、  
英語200点、  
選択科目100点  
計500点

※上記とは別に、外国人留学生選抜、帰国生選抜、3年次編入学選抜を実施しています。

詳しくは、学生募集要項をご確認ください。

2024年度入試日程

● 学校推薦型選抜 / 2023年11月18日(土)

● 一般選抜 / 芸術学科専門試験：2024年2月6日(火) 学科試験：2月6日(火)

# 芸術学科で取得できる2つの資格



## 学芸員となった先輩たちの活躍の場

愛知県美術館、板橋区立美術館、宇都宮美術館、神奈川県立近代美術館、川崎市市民ミュージアム、国立国際美術館、サントリー美術館、静岡市美術館、世田谷美術館、せんだいメディアテーク、DIC 川村記念美術館、東京国立近代美術館、東京都美術館、富山県美術館、山口情報芸術センター、横浜美術館

芸術学科では、学部在学中に学芸員資格と教員免許状(美術)の両方を取得することが可能です。

## 学芸員資格

卒業単位のなかで、学芸員資格を取得できます。

## 美術教員免許

中学校・高等学校の教諭1種免許状(美術)を取得できます。

## 先輩たちはこんな仕事をしています。

### 学芸員

美術館や博物館で作品の収集や保存、展覧会の企画や運営、教育普及などに携わる。

### 編集者

出版社などで書籍や雑誌の制作に携わる。

### 美術史家

研究機関などで美術史の研究に携わる。

### 評論家

美術や文芸などの分野の批評記事を書き、雑誌などの媒体に寄稿する。

### アート・プロデューサー

芸術祭やアート・イベントを企画、監修する。

### ギャラリー・スタッフ

美術家の作品を世に出し、コレクターや美術館が収集する媒介になるギャラリーの仕事をする。

### エディトリアル・デザイナー

書籍や雑誌の装幀、レイアウトを手がける。

### カメラマン

報道や広告のために写真を撮影する。

### 美術家

絵画、彫刻などを制作する。本学科は着ぐるみ作家やサーカスのパフォーマーも輩出している。

## 本学科出身者の就職先の例

東京藝術大学、明治大学、沖縄県立芸術大学、NTT出版、大空出版、森話社、美術出版社、ポプラ社、BankART 1929、福武財団、東急文化村、上毛新聞社、産経新聞社、凸版印刷、水上印刷、アマナホールディングス、電通、東北新社、博報堂、TBS、テレビ神奈川、コム・デ・ギャルソン、ユニクロ、ワイズ、資生堂、松屋、三越伊勢丹、横浜銀行、イケア・ジャパン、クリナップ、警視庁、木下大サーカス、劇団青年座研究所